

嵯峨昇喜郎選手が優勝

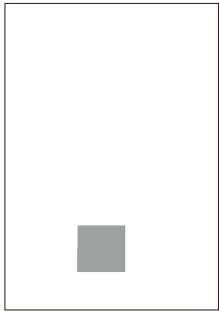
広島競輪NIPPO杯

NIPPOが協賛した競輪の「NIPPO杯／CTC杯」（9月28～30日）決



勝戦が30日、広島市南区の広島競輪場で開かれ、嵯峨昇喜郎選手が優勝の栄冠を手にした。レース後の表彰式では、NIPPOの山口秀樹執行役員中国支店長が副賞の目録を贈呈した。写真。

同競輪場は2022年11月～25年10月にNIPPOの施工で全面改修した。同社の舗装技術を生かし、ハイレベルな選手が違和感なく競技に専念できるよう、平坦性を可能な限り高めた。専用塗料で適切なグリップが得られるようにし、選手の評価も高いという。



広島競輪場で NIPPO杯

NIPPO協賛の「NIPPO杯・CTC杯」が9月28日から30日まで広島競輪場で開かれた。最終日の12レース級決勝では、嵯峨昇喜郎選手（青森県）が優勝を飾り、

左から山口支店長、嵯峨選手、広島競輪マスコットの「ひろしまびーすけ」



同社中国支店の山口秀樹執行役員支店長が賞状と副賞を贈呈した。

NIPPOは、2025年に同競輪場再整備の一環として実施したバンク更新を施工した。特殊密粒度アスファルト混合物などを使い3層で敷き均し、選手からは「走りやすくなった」と高い評価を得ている。また、路面の塗装は自転車競技場専用塗料を塗布し、カラーを競輪場がある宇品地区の海をイメージしたブルーに変更している。

